

のアルバム

滋賀ふるさと観光大使が来庁！

滋賀ふるさと観光大使の西川貴教にしがわのりさんが、市役所を表敬訪問されました。この訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響により県内のイベントなどが中止となり観光客が減少していることから、少しでも活気ある滋賀県に！との思いで自ら希望され、実現したものです。

野洲市出身の西川さん。ご自身の野洲市での思い出やご家族のこと、また、現在の市の取り組みなどについて市長と意見交換されました。



▼7月3日 市役所



▼6月20日 コミセンなかさと



食材を提供 子どもの笑顔が一番！

新型コロナウイルス感染症の影響で3月から活動を休止しているちゅうず子ども食堂が、子どもたちのために何かできることはないかとの思いから、「食材お渡し会」を企画されました。

フードバンクびわ湖など5カ所から野菜やお菓子、レトルトカレーなどの提供を受け100セットを用意。

地元の幼稚園や小・中学校に呼びかけ、訪れた親子に手渡しました。

利用者の皆さんは、「たくさんの食材に驚きました。早く活動を再開してほしい。」と話されていました。

プールでカヌー体験♪

中主B&G海洋センターのプールで、小学生を対象にした「カヌー体験」を実施しました。

参加者は最初に水辺の安全教室と題した紙芝居で、友だちが溺れてしまったときは自分で助けようとせず、周りにある浮くものを投げてから助けを呼びに行くことや、水遊びをするときは必ずライフジャケットを着用することなどを学びました。

そしていよいよカヌー体験。最初はまっすぐ進めなかった子どもたちも徐々にコツをつかみ、うまくバランスをとりながらカヌーを楽しみました。

子どもたちからは、「楽しかった！」「今度は琵琶湖でやってみたい。」などの声が聞かれました。

▼6月13日・14日 中主B&G海洋センター



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

191

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

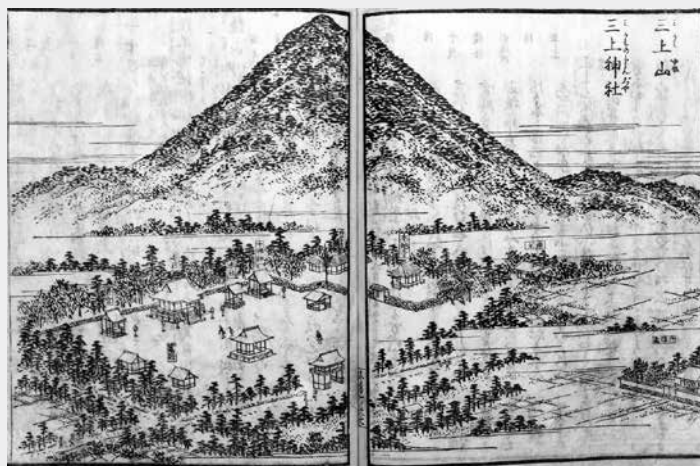
野洲の名所・名産 —『木曾路名所図会』より—

江戸時代後期、主要な街道や特定の地域を取り上げ、その名所や名産を挿絵とともに紹介した「名所図会」とよばれる書物が世に出回りました。旅人はもちろん、多くの人にとって貴重な情報源でした。銅鐸博物館で展示中の文化2（1805）年刊行『木曾路名所図会』には、野洲の名所や名産が描かれています。

木曾路とは中山道の別名で、同書は京都から東へ順に、中山道やその付近の風光明媚な名所や名産をまとめたものです。全6巻中の第1巻に野洲川、野洲晒、平宗盛洞塚が紹介されています。中でも三上山は、野洲の象徴かのように左右2ページの見開きで大きく描かれ、中山道を行き交う人々の目線ととらえた特徴的な山頂の輪郭もこまかく表現されています。ふもとの三上（御上）神社や三上藩の拠点である陣屋（屋敷）は空から見下ろしたような構図で描かれ、境内の参拝者や天秤棒で荷を担ぎ脇道を行く人の様子から三上周辺の日常が伝わってきます。別頁には「桜はさま辻町むらを過ぎて矢棟川あり 矢のむね村にハ火うち金の金を作りて売る」とあります。かつて小堤の鍛冶屋によって作られた火打ち金が名産品として知られており、銅鐸博物館では「請合 屋棟川」と焼き印が見える火打ち金も展示しています。多くの人々がこの評判の火打ち金を買って求めたことでしょう。

「名所図会」は旅に出ることが難しい人々にとって、遠方の地へ思いを馳せることができる読み物でもありました。江戸時代の観光情報誌をながめながら空想の旅路へ出るのも一興です。

（市史専門調査員 江藤弥生）



『木曾路名所図会』第1巻(当館蔵)の三上山と三上(御上)神社

休館日：月曜日（祝日は開館）、8月11日（火）

※市民は入館無料

（運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。）

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、来館ください。



子どもたちへの支援などに活用

㈱コカ・コーラボトラーズジャパンから社会貢献活動の一環として、350ml ペットボトルの飲料水 1,200 本を寄贈していただきました。

寄贈された飲料水は、学習・生活支援事業（YaSchool）に参加する生徒が学習しやすい環境を整えるために毎回提供させていただくほか、生活に困っている人への支援のひとつとして配布させていただきます。

▼7月2日 市役所



ウチョウランの魅力を発信！

野洲うちょう蘭の会主催の「2020 年うちょう蘭展」が開催されました。

ウチョウランは、山地の崖や岩場などに生える多年草で、花の形が羽を広げたチョウのように見えるのが特徴。

野洲図書館での開催は今年で3回目となり、紅紫やピンク色の花が館内を華やかに彩りました。

「ウチョウランの手入れは大変ですが、綺麗に花を咲かせるのが毎年の楽しみ。」と会員の齋木晟次さんは話します。

▼6月26日 野洲図書館本館

